プリントサーバ

LPV3-U2-G54

ユーザーズマニュアル

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

⚠注意 **マーク** 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。 この注意事項に従わなかった場合、 身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモ **マーク** 製品の取り扱いに関する補足事項、 知っておくべき事項です。

▶参照 **マーク** 関連のある項目のページを記しています。

・文中 [　　] で囲んだ名称は、 操作の際に選択するメニュー、 ボタン、 テキストボックス、 チェックボックスなどの名称を表わしています。

・本書では、 原則として本製品を設定するパソコンを 《設定用パソコン》 と表記しています。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目　　次

第 1 章　ご使用になる前に

第 2 章　Windows で印刷する

第 3 章　Macintosh で印刷する

第 4 章　UNIX で印刷する

第 5 章　困ったときは

第 6 章　付　録

第 1 章

ご使用になる前に

■この章でおこなうこと

本製品の設定を始める前の準備をします。以後の作業を中断することなく、 スムーズに進めるために大切なことを説明します。

1.1 本製品の概略

1.2 本製品の接続 （有線）

1.3 本製品の接続 （無線）

1.1 本製品の概略

本製品の特長について説明します。

■ 特長

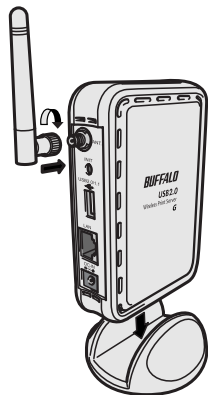
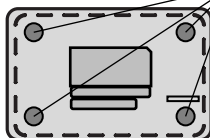
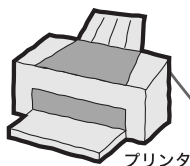
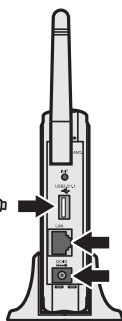
本製品は、 有線 / 無線 LAN 上の様々なコンピュータからの印刷を可能にする有線 / 無線プリントサーバです。

- 高速 2.4GHz/54Mbps（IEEE802.11g）と 2.4GHz/11Mbps（IEEE802.11b）の同時通信が可能。
- AutoNegotiation 対応の 100/10MbpsLAN ポートを搭載。
- ネットワーク負荷を軽減する多チャンネル（全 13 チャンネル）機能を搭載。
- WEP、TKIP に対応。
- TCP/IP（NBT、LPR）、NetBEUI、AppleTalk および Rendezvous に対応。
- SNMP（MIB2、PrivateMIB）に対応。
- DHCP に対応。
- IPP（Internet Printing Protocol）に対応。
- 付属ソフト「LPV3 マネージャ」および Web ブラウザで設定が可能。

■ 制限事項

弊社製 WBR-B11 をお使いの場合、 WBR-B11 の無線暗号化設定が TKIP に設定されていると本製品と無線接続できません。 事前に WEP に設定変更してから、 本製品を無線接続してください。

1.2 本製品の接続（有線）

本製品を有線で接続する方法を説明します。

以上で本製品の接続は完了です。

続いて別紙「簡単設定ガイド」の「ステップ 4　LPV3 マネージャをインストールしよう」→「ステップ 5　無線プリントサーバを設定しよう」の手順を行ってください。

1.3 本製品の接続（無線）

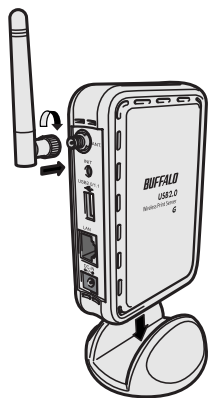
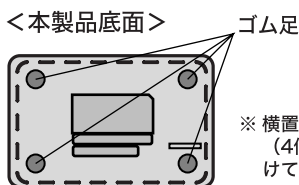
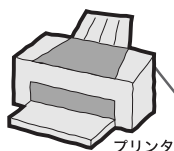
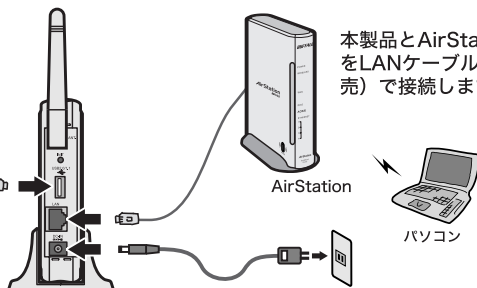
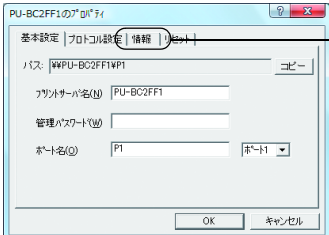
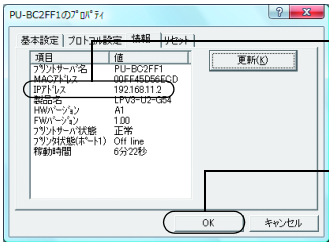
本製品を、 無線 LAN アクセスポイントと無線で接続する方法を説明します。

■ AOSS 機能に対応した AirStation と接続する

本製品を、 AOSS 機能に対応した AirStation と接続する場合は、 別紙 「簡単設定ガイド」 の 「ステップ 3　無線プリントサーバを取り付けよう」 を参照してください。

■ AOSS 機能に対応していない AirStation と接続する

本製品を、 AOSS 機能に対応していない AirStation と接続する場合は、 以下の手順にしたがってください。

メモ　弊社製 WBR-B11 をお使いの場合、 WBR-B11 の無線暗号化設定が TKIP に設定されていると本製品と接続できません。 事前に WEP に設定変更してから、 下記の手順を行ってください。

3 別紙「簡単設定ガイド」の「ステップ 4 LPV3 マネージャをインストールしよう」を参照して、LPV3 マネージャをインストールします。

4 ［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［LPV3 マネージャ］－［LPV3 マネージャ］を選択します。LPV3 マネージャが起動し、自動的に本製品の検索が始まります。

5

検索された本製品を選択します。

ログインボタン（ ）をクリックします。

6

［情報］をクリックします。

7

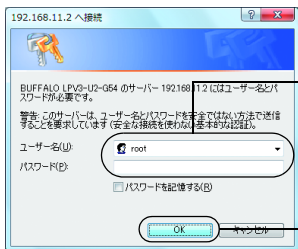
IP アドレスを確認します。

［OK］をクリックして画面を閉じます。

8 WEB ブラウザを起動します。

9

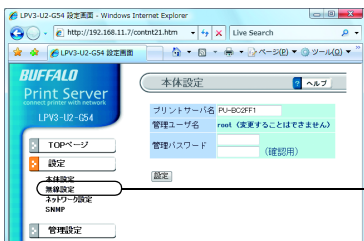
アドレス欄に「http://< 本製品の IP アドレス >」と入力し、［Enter］キーを押します。
IP アドレスは、上記の手順で確認したものを入力してください。

10

「ユーザ名」欄に「root」(小文字) を、「パスワード」欄を空欄にします。

[OK] をクリックします。

11

画面左の [設定] をクリックします。

12

画面左の [無線設定] をクリックします。

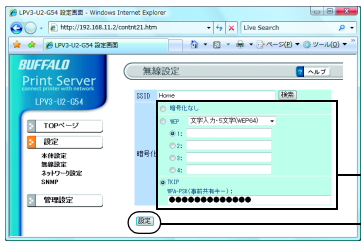
13

[検索] をクリックします。

14

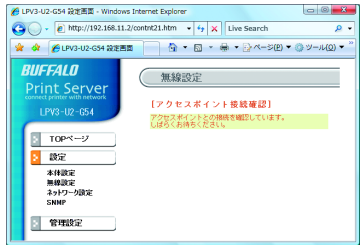
接続先の AirStation の SSID を選択します。

［選択］をクリックします。

15

暗号化の方式を選択し、暗号キーを入力します。

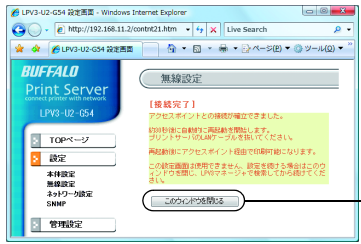
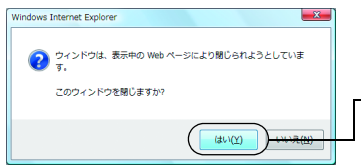
※ 暗号化の方式と暗号キーは、接続先のAirStationと同一のものを入力してください。

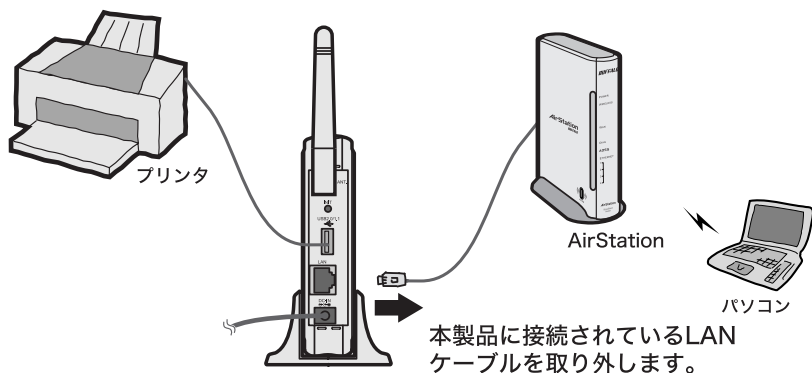
［設定］をクリックします。

16

「アクセスポイントとの接続を確認しています」と表示されたら、そのままの状態で画面が切り替わるまで待ちます。

17

接続完了画面が表示されたら、［このウィンドウを閉じる］をクリックします。

18

［はい］をクリックします。

19

20 ［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［LPV3 マネージャ］－［LPV3 マネージャ］を選択します。LPV3 マネージャが起動し、自動的に本製品の検索が始まります。

21

本製品が表示されることを確認します。

以上で本製品の接続は完了です。

続いて別紙 「ステップ 5　無線プリントサーバを設定しよう」 の手順を行ってください。

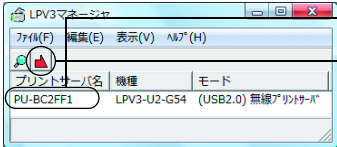
第2章 Windowsで印刷する

■この章でおこなうこと

Windows環境で印刷する方法を説明します。本章では「簡単設定ガイド」とは別の方法を説明します。

2.1 LPR プロトコルで印刷する

2.2 NetBEUI プロトコルで印刷する

2.3 IPP プロトコルで印刷する

2.1 LPR プロトコルで印刷する

付属の「簡単設定ガイド」では、NBT（NetBIOS over TCP/IP）プロトコルを使って印刷する方法を説明しています。ここでは、同じく TCP/IP ネットワークで動作する「LPR」プロトコルを使って印刷する方法を説明します。

■ 本製品の設定をする

1 「本製品の接続（有線）」（P5）および「本製品の接続（無線）」（P6）を参照して、本製品を接続します。

2 別紙「簡単設定ガイド」の「ステップ 4　LPV3 マネージャをインストールしよう」を参照して、LPV3 マネージャをインストールします。

3 ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［LPV3 マネージャ］－［LPV3 マネージャ］を選択します。LPV3 マネージャが起動し、自動的に本製品の検索が始まります。

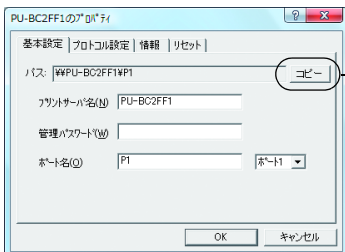
4

1 選択　検索された本製品を選択します。

2 クリック　ログインボタン（　）をクリックします。

5 ［ポート名］欄に表示されているポート名（例：P1）をメモします。

《ポート名》

メモ　ポート名は変更することもできます。

「コピー」ボタンでクリップボードにコピーしておくと、後ほどおこなうプリンタの設定の際に、「ポート名」欄や「プリンタへのネットワークパス」欄へ貼り付けることができます。

6 ［プロトコル設定］タブをクリックした後、［TCP/IP］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。
［IP アドレス］欄に表示されている IP アドレス（例：192.168.11.2）をメモします。
《IP アドレス》

.   .   .

メモ
- 「自動設定」で IP アドレスを取得すると、IP アドレスが変更されることがあります。その場合、印刷をするパソコンの設定も変更する必要があるため、IP アドレスは「手動設定」で固定することをお勧めします。
- IP アドレスを固定する場合は、「手動設定」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを入力してください。IP アドレスの設定方法が分からない場合は、「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P66）を参照してください。
- 印刷をするパソコンと本製品が異なるサブネット（セグメント）に存在する場合は、本製品側の［ゲートウェイ］を設定します。
  パソコンと本製品が同一サブネット（セグメント）に存在する場合など、ゲートウェイを設定する必要がない場合は、ゲートウェイに「0.0.0.0」を入力してください。
- 「自動設定」のときに IP アドレスが「192.168.11.222」と表示されているときは、IP アドレスが正しく取得できていません。本製品が正しくネットワークに接続されているか確認してください。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

9 ［OK］をクリックします。LPV3 マネージャが自動的に終了します。

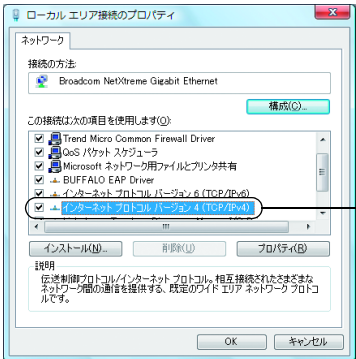
続いて「TCP/IP プロトコルの設定をする」（P14）に進みます。

メモ LPV3 マネージャで本製品を検出できないときは
- ファイアウォール機能が有効になっている常駐ソフト （トレンドマイクロ社ウイルスバスターなど） のファイアウォール機能を無効にしてください。
- 本製品を設定するLANアダプタにだけ、TCP/IPプロトコルをバインドしてください。

※ 詳細は、 「LPV3 マネージャで検索しても、 本製品が検出されない （TCP/IP プロトコルはインストール済み）」 （P60） を参照してください。

■　TCP/IP プロトコルの設定をする

印刷をするパソコンすべてに、 TCP/IP の設定をします。

お使いの Windows によって手順は異なります。 該当する項目を参照してください。

Windows Vista P14
Windows XP/2000 . . . . P15
Windows Me/98/95. . . . . P16
Windows NT4.0 . . . . P17

《Windows Vista の場合》

TCP/IP がインストールされていることを確認します。

1　［スタート］－［コントロールパネル］を選択します。

2　［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3　画面左側の［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

4　［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します（無線 LAN アダプタを使用している場合は、［ワイヤレス ネットワーク接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします）。

5

「インターネットプロトコル バージョン 4 （TCP/IPv4）」 が表示されていることを確認します。

続いて「プリンタの設定をする（LPR）」（P19）へ進みます。

《Windows XP/2000 の場合》

TCP/IP がインストールされていることを確認します。

1 Windows XP の場合は、[スタート] − [コントロールパネル] を選択し、手順 2 へ進みます。
Windows 2000 の場合は、[スタート] − [設定] − [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択して、手順 4 へ進みます。

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。

3 [ネットワーク接続] をクリックします。

4 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します (Windows XP で無線 LAN アダプタを使用している場合は、[ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします)。

5

「インターネットプロトコル(TCP/IP)」 が表示されていることを確認します。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)」 が表示されていないときは、次の手順に進む前に 「TCP/IP プロトコル/NetBEUIプロトコルをインストールしたい (Windows 2000/Me/98/95/NT4.0)」 (P64) を参照して、TCP/IP をインストールします。

続いて「プリンタの設定をする(LPR)」(P19) へ進みます。

《Windows Me/98/95 の場合》

TCP/IP の設定をします。

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

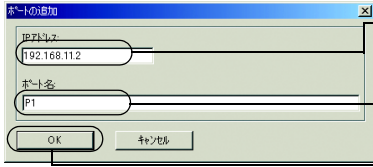
3

［TCP/IP］が表示されていることを確認します。

「TCP/IP」が表示されていないときは、次の手順に進む前に「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P64）を参照して、TCP/IP をインストールします。

4 ［追加］をクリックします。

5 ［クライアント］を選択して、［追加］をクリックします。

6 ［ディスク使用］をクリックします。

7 「LPV3 シリーズユーティリティ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

8 「E:\」（CD-ROM ドライブが E ドライブの場合）と入力して、［OK］をクリックします。

9 ［TCP/IP ネットワーク印刷］を選択して、［OK］をクリックします。

10 ［TCP/IP ネットワーク印刷］を選択して、［プロパティ］をクリックします。

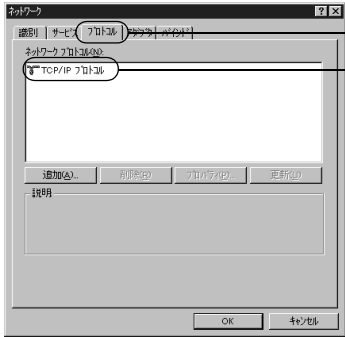
11 ［追加］をクリックします。

12

メモ　本製品のポート名と IP アドレスは、 P13 でメモした値を入力します。

13 「ポートリスト」に「¥¥ ＜ IP アドレス＞ \ ＜ポート名＞」と表示されていることを確認して、［OK］をクリックします。

14 ［OK］をクリックして、ウィンドウを閉じます。

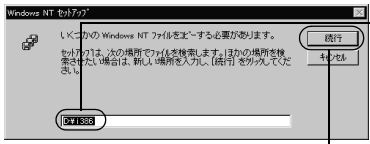
15 「今すぐ再起動しますか？」と表示されますので、［はい］をクリックします。

続いて「プリンタの設定をする（LPR）」（P19）へ進みます。

《Windows NT4.0 の場合》

TCP/IP の設定をします。

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3

［プロトコル］をクリックします。

［TCP/IP プロトコル］ が表示されていることを確認します。

「TCP/IP プロトコル」 が表示されていないときは、 次の手順に進む前に「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P64） を参照して、 TCP/IP をインストールします。

4 ［サービス］タブをクリックして、［追加］をクリックします。

5 ［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択して、［OK］をクリックします。

6

WindowsNT の CD-ROM をパソコンにセットして、「E¥i386」（CD-ROMドライブがEドライブの場合）と入力します。

PC-9821/9801 シリーズの場合は「E:¥PC98」と入力します。

［続行］をクリックします。

7 ［閉じる］をクリックして、ウィンドウを閉じます。

8 「今すぐ再起動しますか？」と表示されますので、［はい］をクリックします。

続いて「プリンタの設定をする（LPR）」（P19）へ進みます。

■ プリンタの設定をする （LPR）

パソコンにプリンタの設定をします。 印刷をするパソコンすべてに必要です。

また、 Windows のバージョンによって手順が異なります。 該当する項目を参照し、設定してください。

Windows Vista/XP/2000 . . . . P19

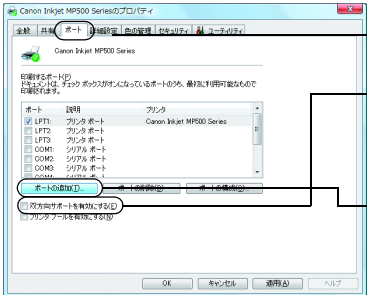
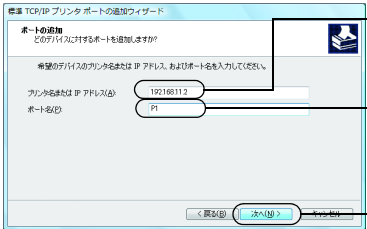
Windows Me/98/95 . . . . P21

Windows NT4.0 . . . . P23

《Windows Vista/XP/2000 の場合》

1 プリンタのマニュアルを参照して、 プリンタのドライバをインストールします。

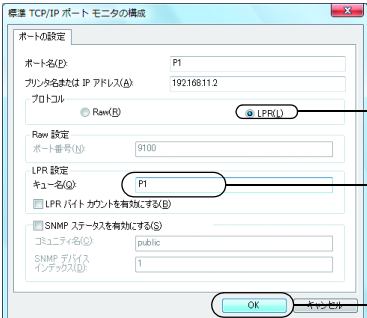
メモ

- ここでは、 プリンタがパソコンのプリンタポート （LPT1） に接続されているもの （ローカルプリンタ） として、 プリンタのドライバをインストールしてください。
- インストールの途中で 「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」 などのチェック項目がある場合は、 チェックマークを外してください。

2 Windows Vista の場合は、［スタート］ － ［コントロール パネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP の場合は、［スタート］ － ［コントロール パネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］ － ［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 の場合は、［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］を選択します。

3 インストールしたプリンタを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

4

① ［ポート］ をクリックします。

② ［双方向サポートを有効にする］のチェックが付いているときは、チェックを外します。

③ ［ポートの追加］ をクリックします。

5 ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

6 ［次へ］をクリックします。

7

標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード

ポートの追加
どのデバイスに対するポートを追加しますか?

希望のデバイスのプリンタ名または IP アドレス、およびポート名を入力してください。

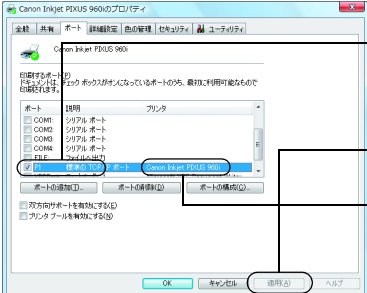
プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.11.2
ポート名(P): P1

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

1 入力　本製品のIPアドレスを入力します。

2 入力　本製品のポート名を入力します。

3 クリック　［次へ］　をクリックします。

メモ　本製品の IP アドレスとポート名は、 P13 でメモした文字列を入力します。

8 ［カスタム］を選択して、［設定］をクリックします。

9

［LPR］　を選択します。

［ポート名］と同じ文字列を入力します。

［OK］　をクリックします。

10 ［次へ］をクリックします。

11 ［完了］をクリックします。

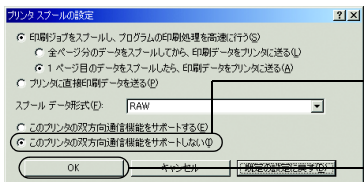
12 ［閉じる］をクリックします。

13

手順 7 で入力したポート名が登録され、チェックが付いていることを確認します。

［適用］　をクリックします。

［プリンタ］欄にプリンタ名が表示されることを確認します。

14 ［全般］をクリックして、［テストページの印刷］をクリックします。

テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

《Windows Me/98/95 の場合》

1 プリンタのマニュアルを参照して、 プリンタのドライバをインストールします。

メモ
- ここでは、 プリンタがパソコンのプリンタポート （LPT1） に接続されているもの （ローカルプリンタ） として、 プリンタのドライバをインストールしてください。
- インストールの途中で 「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」 などのチェック項目がある場合は、 チェックマークを外してください。

2 ［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］を選択します。

3 インストールしたプリンタを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

4

［詳細］ をクリックします。

［スプールの設定］ をクリックします。

5

［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］ をクリックします。

［OK］ をクリックします。

6

［ポートの追加］ をクリックします。

7

［ネットワーク］ を選択します。

\\ <本製品の IP アドレス> \ <本製品のポート名>と入力します。

［OK］ をクリックします。

メモ　本製品の IP アドレスとポート名は、 P13 でメモした文字列を入力します （入力例 ： \\192.168.11.2\P1）。

8 「共有プリンタは指定されたポートを使えません。このまま続けると、プリンタは共有できなくなります。続けますか？」という画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

9 ［印刷先のポート］に手順 7 で入力した文字列が表示されていることを確認し、［適用］をクリックします。

10 ［全般］タブをクリックし、［印字テスト］をクリックします。

テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

《Windows NT4.0 の場合》

1 プリンタのマニュアルを参照して、 プリンタのドライバをインストールします。

メモ
- ここでは、 プリンタがパソコンのプリンタポート （LPT1） に接続されているもの （ローカルプリンタ） として、 プリンタのドライバをインストールしてください。
- インストールの途中で 「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」 などのチェック項目がある場合は、 チェックマークを外してください。

2 ［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］ を選択します。

3 インストールしたプリンタを右クリックし、［プロパティ］ を選択します。

4

1 ［ポート］ をクリックします。

2 ［双方向サポートを有効にする］のチェックが付いているときは、チェックを外します。

3 ［ポートの追加］ をクリックします。

5 ［LPR Port］ を選択し、［新しいポート］ をクリックします。

6

1 本製品のIPアドレスを入力します。

2 本製品のポート名を入力します。

3 ［OK］ をクリックします。

メモ 本製品の IP アドレスとポート名は、 P12 でメモした文字列を入力します。

7 ［閉じる］ をクリックします。

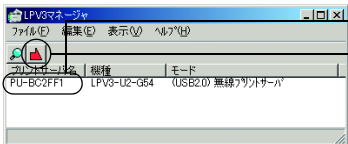
8

追加したポートが表示されていることを選択します。

9 ［全般］をクリックして、［テストページの印刷］をクリックします。

テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて終了です。

2.2 NetBEUI プロトコルで印刷する

ここでは、 NetBEUI プロトコルを使って印刷する方法を説明します。

メモ
- 無線接続で本製品を使用している場合、 事前に無線の暗号化設定を WEP に変更してから、 以下の手順を行ってください。 無線の暗号化設定が TKIP の場合、 NetBEUI プロトコルでは通信できません。
- Windows Vista/XP では、 NetBEUI プロトコルはサポートされていません。

■ 本製品の設定を確認する

付属ソフト「LPV3 マネージャ」を使って、本製品の（ネットワーク）パスを確認します。

メモ
LPV3 マネージャを使用するには、 TCP/IP がインストールされたパソコンが必要です。
TCP/IP がインストールされたパソコンがない場合は、 本製品の 「パス」 設定を工場出荷時設定のままで使用してください。
本製品の工場出荷時設定については、 マニュアル 「簡単設定ガイド」 または本書 「本製品の設定項目と出荷時設定」 （P84） を参照してください。

1 「本製品の接続（有線）」（P5）および「本製品の接続（無線）」（P6）を参照して、本製品を接続します。

2 「簡単設定ガイド」の「ステップ 4　LPV3 マネージャをインストールしよう」を参照して、LPV3 マネージャをインストールします。

3 ［スタート］ー［（すべての）プログラム］ー［BUFFALO］ー［LPV3 マネージャ］ー［LPV3 マネージャ］を選択します。LPV3 マネージャが起動し、自動的に本製品の検索が始まります。

4

検索された本製品を選択します。

ログインボタン （ ） をクリックします。

5 ［パス］欄に表示されているパス（例：\\PU-BC2FF1\P1）をメモします。

《パス》

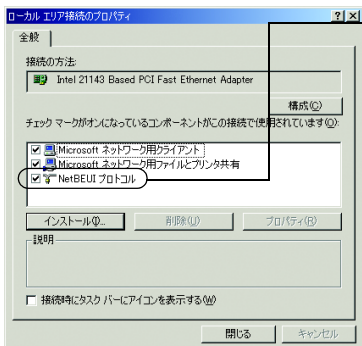
メモ　サーバ名やポート名は変更することもできます。サーバ名やポート名を変更するとパスも変わるため、必ず変更後のパスをメモしてください。

6 ［OK］をクリックします。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。LPV3 マネージャが自動的に終了します。

続いて「NetBEUI プロトコルの設定をする」（P27）に進みます。

■ NetBEUI プロトコルの設定をする

印刷をするパソコンすべてに、NetBEUIがインストールされていることを確認します。
お使いの Windows によって手順は異なります。 該当する項目を参照してください。

《Windows 2000 の場合》

1 ［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。

2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

3

1 確認 「NetBEUI プロトコル」 が表示されていることを確認します。

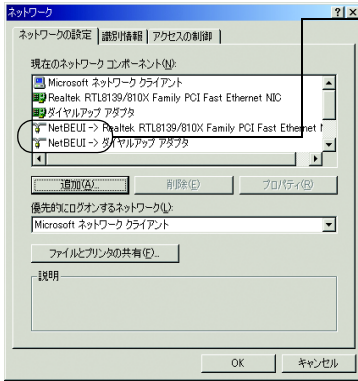
「NetBEUI プロトコル」 が表示されていないときは、次の手順に進む前に「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P64）を参照して、 NetBEUI をインストールします。

続いて「プリンタの設定をする（NetBEUI）」（P29）へ進みます。

《Windows Me/98/95 の場合》

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3

［NetBEUI］が表示されていることを確認します。

「NetBEUI」が表示されていないときは、次の手順に進む前に「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P64）を参照して、NetBEUI をインストールします。

続いて「プリンタの設定をする（NetBEUI）」（P29）へ進みます。

《Windows NT4.0 の場合》

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3

［プロトコル］をクリックします。

［NetBEUI プロトコル］が表示されていることを確認します。

「NetBEUI プロトコル」が表示されていないときは、次の手順に進む前に「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P64）を参照して、NetBEUI をインストールします。

続いて「プリンタの設定をする（NetBEUI）」（P29）に進みます。

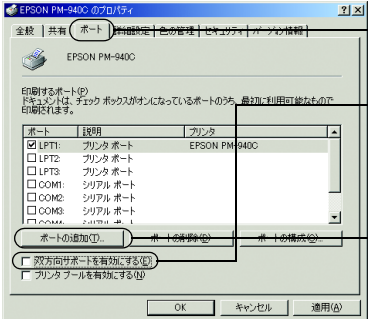
■ プリンタの設定をする（NetBEUI）

パソコンにプリンタの設定をします。プリンタの設定だけは、印刷をするパソコンすべてに必要です。

また、Windows のバージョンによって手順が異なります。該当する項目を参照し、設定してください。

Windows 2000/NT4.0 . . . . P29

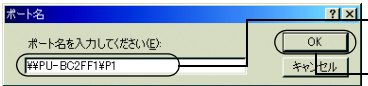
Windows Me/98/95 . . . . P30

《Windows 2000/NT4.0 の場合》

1 プリンタのマニュアルを参照して、プリンタのドライバをインストールします。

メモ
- ここでは、プリンタがパソコンのプリンタポート（LPT1）に接続されているもの（ローカルプリンタ）として、プリンタのドライバをインストールしてください。
- インストールの途中で「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」などのチェック項目がある場合は、チェックマークを外してください。

2 ［スタート］－［設定］－［プリンタ］を選択します。

3 インストールしたプリンタを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

4

［ポート］をクリックします。

［双方向サポートを有効にする］のチェックが付いている場合は、チェックを外します。

［ポートの追加］をクリックします。

5 ［Local Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

6

ポート名
ポート名を入力してください(E):
¥¥PU-BC2FF1¥P1
OK
キャンセル

1 入力 パスを入力します。

2 クリック ［OK］をクリックします。

メモ パスは、P26 でメモした文字列を入力します（入力例：\\PU-BC2FF1\P1）。

7 [閉じる] をクリックします。

8

9 [全般] をクリックして、[テストページの印刷] をクリックします。
テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

《Windows Me/98/95 の場合》

1 プリンタのマニュアルを参照して、 プリンタのドライバをインストールします。

メモ
- ここでは、 プリンタがパソコンのプリンタポート （LPT1） に接続されているもの （ローカルプリンタ） として、 プリンタのドライバをインストールしてください。
- インストールの途中で 「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」 などのチェック項目がある場合は、 チェックマークを外してください。

2 [スタート] － [設定] － [プリンタ] を選択します。

3 インストールしたプリンタを右クリックして、[プロパティ] を選択します。

4

5

［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］ をクリックします。

［OK］ をクリックします。

6

［ポートの追加］ をクリックします。

7

［ネットワーク］ を選択します。

パスを入力します。

［OK］ をクリックします。

メモ　パスは、P26 でメモした文字列を入力します （入力例 ： \\PU-BC2FF1\P1）。

8 「共有プリンタは指定されたポートを使えません。このまま続けると、プリンタは共有できなくなります。続けますか？」という画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

9 ［印刷先のポート］に手順 7 で入力した文字列が表示されていることを確認し、［適用］をクリックします。

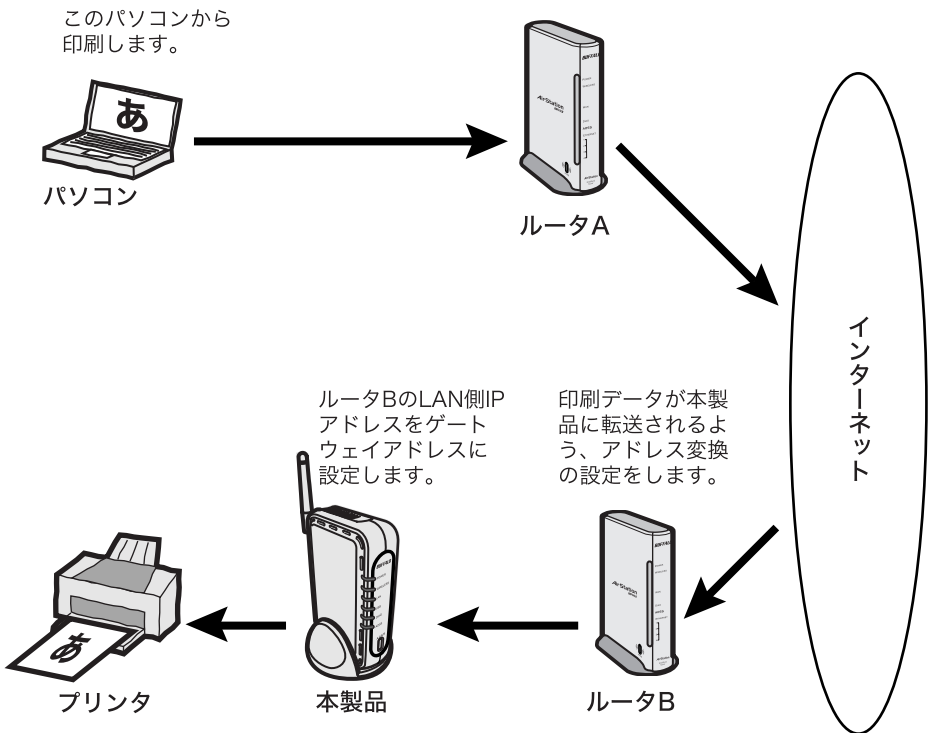
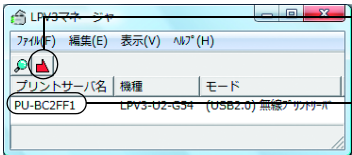
10 ［全般］タブをクリックし、［印字テスト］をクリックします。

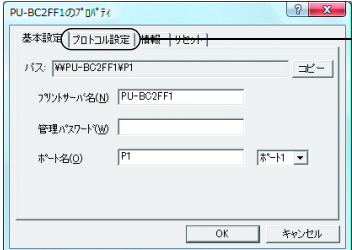
テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

2.3 IPP プロトコルで印刷する

ここでは、 IPP(Internet Printing Protocol) を使って印刷する方法を説明します。

■ IPP について

IPP(Internet Printing Protocol) とは、 ネットワークを通じて、 印刷データや印刷機器の制御を行なうプロトコルです。 Web ブラウザなどで使用する HTTP プロトコルを使用して、 印刷データを送信するため、 インターネットを通じて遠隔地のプリンタに印刷することができます。

⚠注意
- 本製品の IPP 印刷は、 Windows Vista/XP/2000 でのみサポートされています。
- ネットワークにファイアウォールの設置されている場合、 ファイアウォールの設定を変更する必要があります。
- 上図のような構成の場合、 ルータ側にアドレス変換の設定 （静的 IP マスカレード設定） を行う必要があります。設定方法は、ルータのマニュアルを参照してください。

■ 本製品の IP アドレスを設定する

印刷の設定を行う前に、付属ソフト「LPV3 マネージャ」を使って、プリントサーバの IP アドレスを設定します。

1 「本製品の接続（有線）」（P5）および「本製品の接続（無線）」（P6）を参照して、本製品を接続します。

2 「簡単設定ガイド」の「ステップ 4　LPV3 マネージャをインストールしよう」を参照して、LPV3 マネージャをインストールします。

3 ［スタート］－［(すべての) プログラム］－［BUFFALO］－［LPV3 マネージャ］－［LPV3 マネージャ］を選択します。LPV3 マネージャが起動し、自動的にプリントサーバの検索が始まります。

4

検索されたプリントサーバを選択します。

ログインボタン（ ）をクリックします。

5

［プロトコル設定］をクリックします。

6

［TCP/IP］ を選択します。

［プロパティ］をクリックします。

7

メモ
- 「自動設定」 で IP アドレスを取得すると、 IP アドレスが変更されることがあります。 その場合、 ネットワーク内のルータの設定も変更する必要があるため、 IP アドレスは 「手動設定」 で固定することをお勧めします。
- IP アドレスの設定方法が分からない場合は、 「IP アドレスの割り振りかたがわからない」 （P66） を参照してください。

8 ［OK］をクリックします。

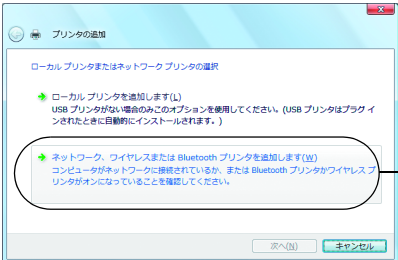
9 ［OK］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。LPV3 マネージャが自動的に終了します。

続いて「プリンタの設定をする（IPP)」（P35）に進みます。

■ プリンタの設定をする （IPP）

パソコンにプリンタの設定をします。 プリンタの設定だけは、 印刷をするパソコンすべてに必要です。

また、 Windows のバージョンによって手順が異なります。 該当する項目を参照し、設定してください。

メモ あらかじめ本製品とプリンタを USB ケーブルで接続し、 電源を入れておいてください。

《Windows Vista の場合》

1 ［スタート］ － ［コントロールパネル］ を選択します。

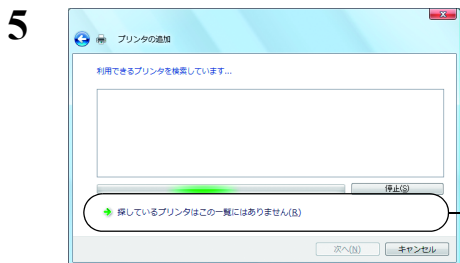
2 ［プリンタ］ をクリックします。

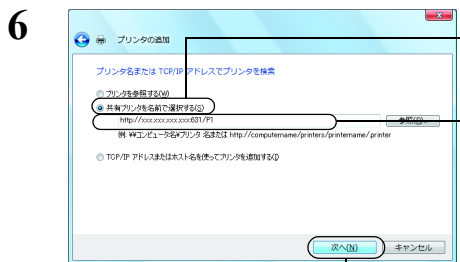
3

「プリンタのインストール」をクリックします。

4

「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。

5

1 クリック 「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。

6

1 選択 「共有プリンタを名前で選択する」を選択します。

2 入力 接続先のルータのグローバル IP アドレスを以下の書式で入力します。

「http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/P1」

（xxx.xxx.xxx.xxx は、接続先のルータのグローバル IP アドレスです）

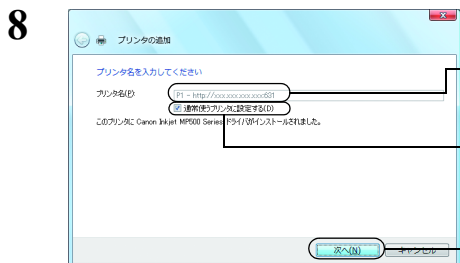
3 クリック ［次へ］をクリックします。

7

1 選択 お使いのプリンタの［製造元］と［プリンタ］を選択します。

2 クリック ［OK］をクリックします。

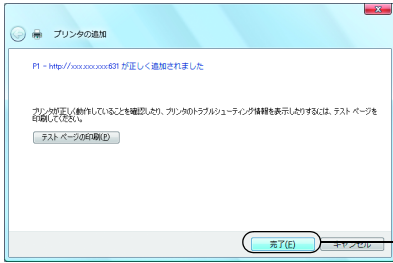
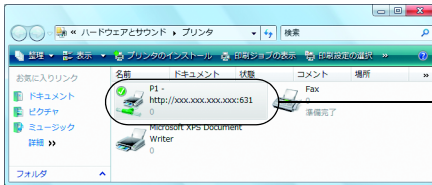
メモ お使いのプリンタが表示されない場合は、［ディスク使用］をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。

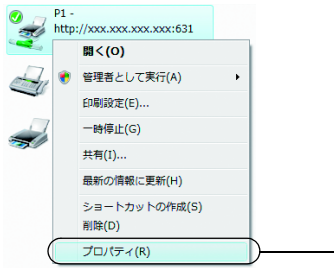
8

1 確認 インストールされたプリンタ名を確認します。

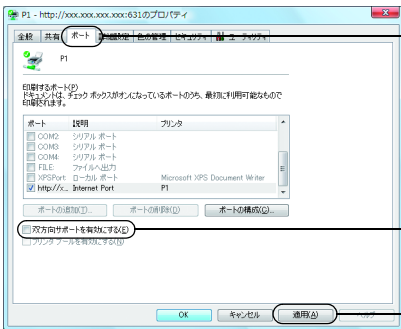
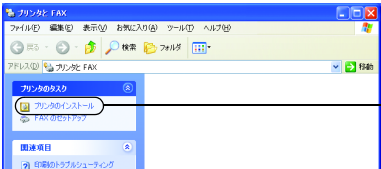
2 クリック 「通常使うプリンタ」にするかどうかを設定します。

3 クリック ［次へ］をクリックします。

［完了］をクリックします。

10

追加したプリンタが表示されていることを確認します。

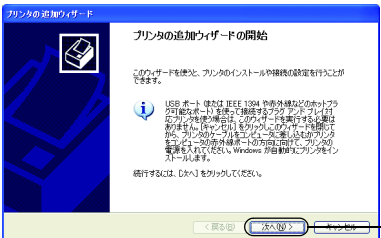
11

追加したプリンタを右クリックして［プロパティ］を選択します。

12

1. ［ポート］をクリックします。
2. 「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。
3. ［適用］をクリックします。

13

［OK］をクリックして、プロパティ画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

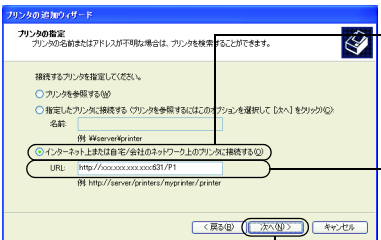
《Windows XP の場合》

1 ［スタート］－［プリンタと FAX］を選択します。

2

「プリンタのインストール」 をクリックします。

3

［次へ］ をクリックします。

4

「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」 をクリックします。

［次へ］ をクリックします。

5

「インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する」 を選択します。

URL欄に接続先のルータのグローバルIPアドレスを以下の書式で入力します。

「http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/P1」

（xxx.xxx.xxx.xxx は、接続先のルータのグローバル IP アドレスです）

［次へ］ をクリックします。

6

お使いのプリンタの［製造元］と［プリンタ］を選択します。

［OK］をクリックします。

メモ お使いのプリンタが表示されない場合は、［ディスク使用］をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。

7

「通常使うプリンタ」にするかどうかを設定します。

※この画面が表示されない場合は、手順 8 へ進んでください。

［次へ］をクリックします。

8

［完了］をクリックします。

9

追加したプリンタが表示されていることを確認します。

10

追加したプリンタを右クリックして［プロパティ］を選択します。

11

12 ［OK］をクリックして、プロパティ画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

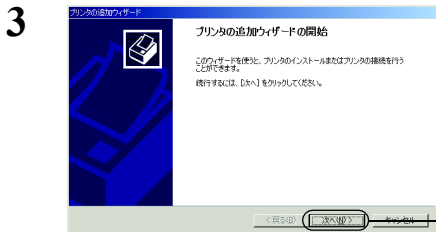
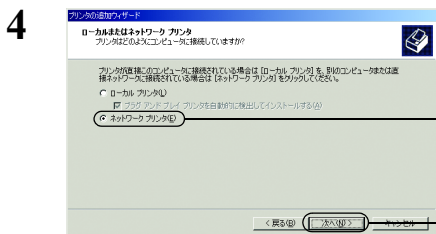
《Windows 2000 の場合》

1 ［スタート］－［設定］－［プリンタ］を選択します。

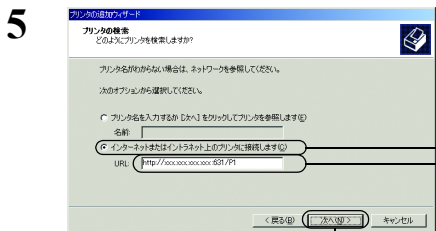
2 「プリンタの追加」をダブルクリックします。

3

［次へ］ をクリックします。

4

「ネットワークプリンタ」を選択します。

［次へ］ をクリックします。

5

「インターネット上またはイントラネット上のプリンタに接続します」 を選択します。

URL 欄に接続先のルータのグローバルIPアドレスを以下の書式で入力します。

「http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/P1」

（xxx.xxx.xxx.xxx は、接続先のルータのグローバル IP アドレスです）

3 クリック ［次へ］ をクリックします。

6

お使いのプリンタの［製造元］と［プリンタ］を選択します。

［OK］をクリックします。

メモ　お使いのプリンタが表示されない場合は、［ディスク使用］をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。

7

「通常使うプリンタ」にするかどうかを設定します。

※この画面が表示されない場合は、手順 8 へ進んでください。

［次へ］をクリックします。

8

［完了］をクリックします。

9

追加したプリンタが表示されていることを確認します。

10

追加したプリンタを右クリックして ［プロパティ］ を選択します。

11

1. ［ポート］ をクリックします。
2. 「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。
3. ［適用］ をクリックします。

12 ［OK］をクリックして、プロパティ画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

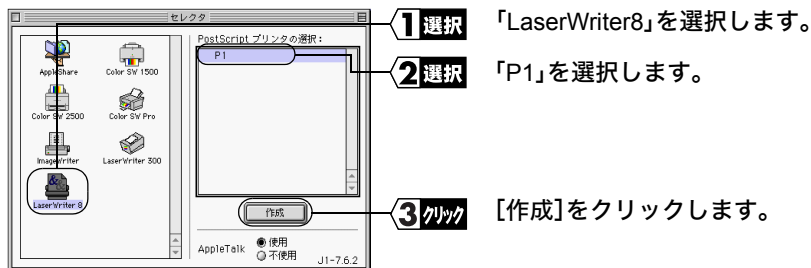
第3章 Macintosh で印刷する

■この章でおこなうこと

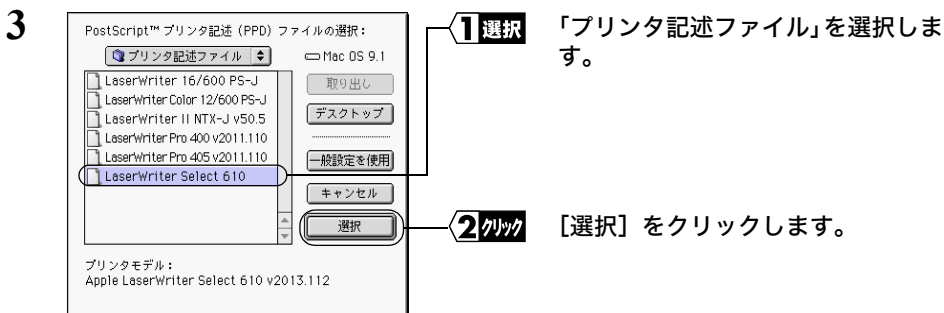
Mac OS を搭載したパソコンを使って、 印刷するための設定を説明します。

3.1 Mac OS 9.x 以前での印刷手順

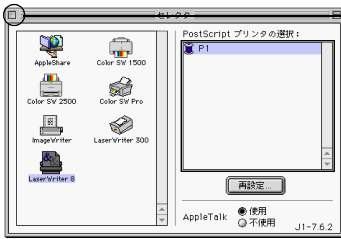
ここでは、Mac OS 9.1 での手順を説明します。

1 ［アップルメニュー］→［セレクタ］を選択します。

メモ
- 本製品を使って印刷するときは、プリンタドライバに「LaserWriter8」を選択してください。他のドライバを使用すると正常に動作しません。
- ポート名を変更したときは、変更したポート名を「PostScript プリンタの選択」リストから選択します。

2 ［PPD 選択］をクリックします（自動的に手順 3 に進むこともあります）。

3

ご使用のプリンタにあったプリンタ記述ファイルを選んでください。
ここでは、「LaserWriter Select 610」を選択しています。

メモ
使用しているプリンタが表示されていないときは、次の操作をしてください。
1. プリンタに付属のプリンタ記述ファイルをデスクトップにコピーします。
2. 手順 3 の画面で［デスクトップ］をクリックし、プリンタ記述ファイルを選択してください。

4

セレクタを閉じます。

以上で印刷に関する設定は完了です。

メモ

- プリンタを変更すると、用紙設定の再設定が必要になります。印刷する前には、必ず用紙設定の確認をしてください。
- 本製品の設定を確認・変更するときは、「本製品の Web 設定画面」（P87）を参照してください。

3.2 Mac OS X での印刷手順

Mac OS X での印刷方法は、AppleTalk プロトコルを使う方法と TCP/IP プロトコルを使う方法と Bonjour（Rendezvous）プロトコルを使う方法の 3 種類があります。

⚠注意 本製品を Macintosh で使用する場合は、 PostScript プリンタのみ対応です。

■ AppleTalk プロトコルを使って印刷する（Mac OS X 10.0.0 ～ 10.3.9）

1 Mac OS X 10.0.0 ～ 10.2.8 の場合は、「Applications」－「Utilities」－「Print Center」（「アプリケーション」－「ユーティリティ」－「プリントセンター」）を選択します。
Mac OS X 10.3.0～10.3.9の場合は、「アプリケーション」－「ユーティリティ」－「プリンタ設定ユーティリティ」を選択します。

2 「使用可能なプリンタがありません。」と表示されるので[追加]をクリックします。

プリンタを登録するのが 2 回目以降の場合は、「プリンタリスト」画面が表示されるので[プリンタを追加]（または「追加」）をクリックします。

3 リストボックスから「AppleTalk」を選択します。

4

メモ
- ポート名を変更したときは、変更したポート名を選択します。
- 上の画面は Mac OS X 10.1 の画面です。

5 プリンタリストに手順 4 で選択した名前が追加されたことを確認します。

以上で印刷に関する設定は完了です。

メモ
- プリンタを変更すると、用紙設定の再設定が必要になります。
  印刷する前には、必ず用紙設定の確認をしてください。
- 本製品の設定を確認・変更するときは、「本製品の Web 設定画面」（P87）を参照してください。

■ AppleTalk プロトコルを使って印刷する（Mac OS X 10.4.0 以降）

1 アップルメニューから[システム環境設定]を選択します。

2 [プリントとファックス]をクリックします。

3 [+]をクリックします。

4

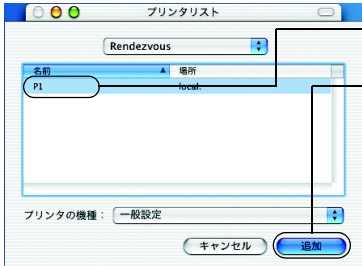
1 クリック　[デフォルト]（デフォルトブラウザ）をクリックします。

2 選択　「P1　AppleTalk」を選択します。

3 選択　ドライバに「一般的な PostScript プリンタ」を選択します。

4 クリック　[追加］をクリックします。

メモ
- ポート名を変更したときは、変更したポート名を選択してください。
- 上の画面は Mac OS X 10.5 の画面です。

5 プリンタリストに手順 4 で選択した名前が追加されたことを確認します。

以上で印刷に関する設定は完了です。

メモ
- プリンタを変更すると、用紙設定の再設定が必要になります。
  印刷する前には、必ず用紙設定の確認をしてください。
- 本製品の設定を確認・変更するときは、「本製品の Web 設定画面」（P87）を参照してください。

■ Rendezvous プロトコルを使って印刷する（Mac OS X 10.2.0 ～ 10.3.9）

1 Mac OS X 10.2.0 ～ 10.2.8 の場合は、「Applications」－「Utilities」－「Print Center」（「アプリケーション」－「ユーティリティ」－「プリントセンター」）を選択します。
Mac OS X 10.3.0～10.3.9の場合は、「アプリケーション」－「ユーティリティ」－「プリンタ設定ユーティリティ」を選択します。

2 「使用可能なプリンタがありません。」と表示されるので[追加]をクリックします。

プリンタを登録するのが 2 回目以降の場合は、「プリンタリスト」画面が表示されるので[プリンタを追加]をクリックします。

3 リストボックスから「Rendezvous」を選択します。

4

「P1」を選択します。

[追加] をクリックします。

メモ ・ ポート名を変更したときは、変更したポート名を選択します。

5 プリンタリストに手順 4 で選択した名前が追加されたことを確認します。

以上で印刷に関する設定は完了です。

メモ
・ プリンタを変更すると、用紙設定の再設定が必要になります。印刷する前には、必ず用紙設定の確認をしてください。
・ 本製品の設定を確認・変更するときは、「本製品の Web 設定画面」（P87）を参照してください。

■ Bonjour プロトコルを使って印刷する(Mac OS X 10.4.0 以降)

1 アップルメニューから[システム環境設定]を選択します。

2 [プリントとファックス]をクリックします。

3 [+]をクリックします。

4

メモ
- ポート名を変更したときは、変更したポート名を選択してください。
- 上の画面は Mac OS X 10.5 の画面です。

5 プリンタリストに手順 4 で選択した名前が追加されたことを確認します。

以上で印刷に関する設定は完了です。

メモ
- プリンタを変更すると、用紙設定の再設定が必要になります。
  印刷する前には、必ず用紙設定の確認をしてください。
- 本製品の設定を確認・変更するときは、「本製品の Web 設定画面」(P87)を参照してください。

■ TCP/IP プロトコルを使って印刷する（Mac OS X 10.0.4 〜 10.3.9）

メモ
- 本製品を Mac OS X 10.4.0 以降をお使いの場合は、 AppleTalk か Bonjour プロトコルを使って印刷してください。TCP/IPプロトコルによる印刷には対応しておりません。
- TCP/IP を使って印刷するには、 Windows パソコンで、 プリントサーバの IP アドレスとキュー名 （ポート名） を確認する必要があります。 確認方法は、 「本製品の設定をする」 （P12） を参照してください。

1 Mac OS X 10.0.4 〜 10.2.8 の場合は、「Applications」ー「Utilities」ー「Print Center」（「アプリケーション」ー「ユーティリティ」ー「プリントセンター」）を選択します。
Mac OS X 10.3.0〜10.3.9の場合は、「アプリケーション」ー「ユーティリティ」ー「プリンタ設定ユーティリティ」を選択します。

2 「使用可能なプリンタがありません。」と表示されるので[追加]をクリックします。

プリンタを登録するのが2回目以降の場合は、「プリンタリスト」画面が表示されるので「プリンタを追加」（または「追加」）をクリックする。

3 Mac OS X 10.0.4 〜 10.1.5 の場合は、リストボックスから「IP を使用する LPR プリンタ」を選択します。
Mac OS X 10.2.0 〜 10.3.9 以降の場合は、リストボックスから「IP プリント」を選択します。

4 以下の項目を入力し、[追加]をクリックします。

メモ
- 「IP アドレス」と「キュー名」（ポート名）は、Windows パソコンを使って、「本製品の設定をする」（P12）の手順で確認できるポート名と IP アドレスを入力します。
- ポート名を変更したときは、変更したポート名を選択します。
- 上の画面は Mac OS X 10.1 の画面です。

5 「プリンタリスト」にプリントサーバのIPアドレスが追加されたことを確認します。

以上で印刷に関する設定は完了です。

メモ
- プリンタを変更すると、用紙設定の再設定が必要になります。印刷する前には、必ず用紙設定の確認をしてください。
- プリントサーバの設定を確認・変更するときは、「本製品の Web 設定画面」（P87）を参照してください。

第4章
UNIX で印刷する

■この章でおこなうこと

UNIX を使って印刷するための設定を説明します。

4.1 UNIX で印刷する

4.1 UNIX で印刷する

UNIX から印刷するには、 以下の手順で設定します。

■ 印刷する前に

メモ UNIX を使って印刷するには、 Windows パソコンで、 本製品の IP アドレスとポート名を確認する必要があります。 確認方法は、 「本製品の設定をする」 （P12） を参照してください。

本製品の工場出荷時設定は、 次のとおりです。

- ポート名　P1
- IP アドレス　DHCP サーバから自動取得

UNIX から本製品を使用して印刷するときの流れは、 次のとおりです。

1. 本製品の IP アドレスの変更 （固定 IP アドレスを設定する場合）
2. 「/etc/hosts」 ファイルの変更
3. 「/etc/printcap」 ファイルの変更
4. lpr コマンドで印刷

■ 印刷する

1 本製品の IP アドレスを定義します。

例 ： 以下のコマンドを実行します。

（本製品の IP アドレスを 192.168.11.123 にする場合）

```
arp -s 192.168.11.123 00:0D:0B:12:34:56
```

メモ 本製品の IP アドレスが 「1.1.1.1」 の場合は、 印刷することができません。
必ず IP アドレスを 「1.1.1.1」 以外に変更してください。

2 本製品と通信できるかどうか確認します。

例 ： 以下のコマンドを実行します。

```
ping 192.168.11.123
```

3　「/etc/hosts」 ファイルに、 本製品の IP アドレス、 ドメイン名およびサーバ名を記述します。

例 ： 次の 1 行を追加します。

192.168.11.123 LPV.buffaloinc.co.jp LPV

4　「/etc/printcap」 ファイルの設定をします。

例 ： 以下の行を追加します。

LPV | LPV Line printer\:lp=:rm=LPV:sd=/usr/spool/LPV:rp=P1:

記述例の説明

lp （ローカルプリンタ） ： ローカルプリンタ時のデバイス名を指定します。 ネットワークプリンタの場合は、 何も指定しません。

rm （リモートマシン） ： hosts ファイルに記述した LPV のホスト名を指定します。 hosts ファイルにホスト名の設定がされていない場合は、 本製品の IP アドレスを指定します。

sd （スプールディレクトリ） ： プリントデータをスプールするディレクトリ名を指定します。 ここで指定したスプールディレクトリは、印刷をする前に用意しておく必要があります。

rp （リモートプリンタ） ： 印刷をするプリンタが接続されているポート名を指定します。

5　次のコマンドで印刷します。

lpr -PLPV < ファイル名 >

メモ

- 設定完了後、 再起動せずに印刷をおこなう場合は、 「lpc restart LPV」 とコマンド入力してください。
- 本製品の設定を変更するには、 付属ソフト 「LPV3 マネージャ」 をインストールした Windows パソコンが必要です。 LPV3 マネージャを起動し、 本製品にログインして、 TCP/IP プロトコルに関する設定を変更します。
- LPV3 マネージャを使って本製品の IP アドレスを確認したら、 Web ブラウザを使って本製品の設定を変更できます。 詳しくは、 「本製品の Web 設定画面」 （P87）を参照してください。

第5章 困ったときは

■この章でおこなうこと

本製品を使用して発生する現象とその原因、対策方法について説明します。

5.1 本製品 / パソコンの設定ができない

LPV3 マネージャで検索しても、 本製品が検出されない（TCP/IP プロトコルはインストール済み）

原因①： TCP/IP プロトコルの設定が正常に機能していません。

対策①： TCP/IP が複数のアダプタにバインドされている（関連付けられている）場合、TCP/IP の設定が正常に機能しないことがあります。現在使用している LANアダプタだけに TCP/IP をバインドした状態で、本製品を再検索してください。

■例：Windows Me/98/95 でバインド（関連付け）を解除する

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

3 「ネットワークの設定」画面で、使用していない LAN アダプタやダイヤルアップアダプタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

4 ［バインド］タブを選択して［TCP/IP プロトコル］のチェックを外し、［OK］ボタンをクリックします。

5 使用していない LANアダプタやダイヤルアップアダプタの［TCP/IP プロトコル］のチェックをすべて外すまで、手順 3 ～ 4 を繰り返します。

6 ［OK］ボタンをクリックして、「ネットワークの設定」画面を閉じた後、Windows を再起動します。

原因②：　ファイアウォール機能をもつソフトがインストールされている。

対策②：　ファイアウォールの機能をもつ常駐ソフトを使用している場合、本製品が検出されないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効に設定するか、ソフトをアンインストールしてください。設定方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

■例 1：ウイルスバスター2008 の場合

「パーソナルファイアウォール機能」は、以下の手順で無効にできます。

⚠注意 「パーソナルファイアウォール」を有効にすることで、ファイアウォール機能が働き、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。本製品の設定が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1 [スタート]－[(すべての)プログラム]－[ウイルスバスター2008]－[ウイルスバスター2008 を起動]を選択します。

2 メイン画面左側の[不正侵入対策/ネットワーク管理]をクリックします。

3 「パーソナルファイアウォール」欄にある[有効]をクリックします。

4 ファイアウォール機能が「無効」に切り替わったことを確認し、画面右上の[×]をクリックします。

以上で設定は完了です。

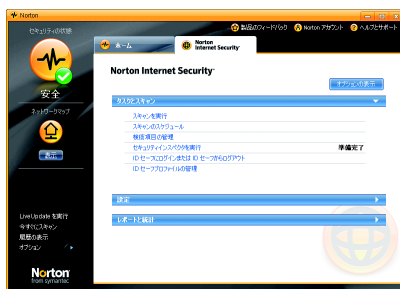
メモ　ファイアウォール機能を再度有効にするには、上記の手順 3 で［無効］をクリックしてください。

■例 2：Norton Internet Security 2008 の場合

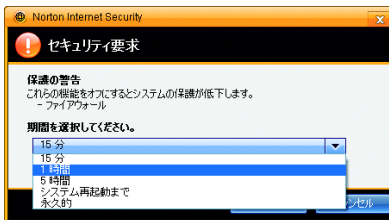
「パーソナルファイアウォール機能」は、以下の手順で無効にできます。

⚠注意　「パーソナルファイアウォール」を有効にすることで、ファイアウォール機能が働き、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。本製品の設定が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1 [スタート]－[(すべての)プログラム]－[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]をクリックします。

2 画面中央の[設定]をクリックします。

3 [Web セキュリティ]－[ファイアウォール]の順にクリックします。

4 [オフにする]をクリックします。

5 ファイアウォール機能を無効にする時間(例:1時間)を選択し、[OK]をクリックします。

6 「ファイアウォールがオフになりました」と表示されたら、[×]をクリックし、画面を閉じます。

以上で操作は完了です。

メモ ファイアウォール機能を再度有効にするには、上記の手順 5 で設定した時間が経過するまで待つか、手順 4 の画面で［オンにする］をクリックしてください。

■例 3:ウイルスセキュリティの場合

「パーソナルファイアウォール機能」は、以下の手順で無効にできます。

⚠注意 「パーソナルファイアウォール」を有効にすることで、ファイアウォール機能が働き、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。本製品の設定が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1 タスクトレイの アイコンを右クリックし、[設定とお知らせ]を選択します。

2 画面左の[不正侵入を防ぐ]をクリックします。

3 [完全に開放]をクリックします。

4 「ご確認」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

5 画面右上の[×]をクリックし、画面を閉じます。

以上で操作は完了です。

メモ ファイアウォール機能を再度有効にするには、パソコンを再起動してください。

LPV3 マネージャを起動すると 「TCP/IP が正しく動作していません」 と表示される （Windows Me/98/95/NT4.0）

原因： TCP/IP プロトコルがインストールされていません。

対策： 「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい（Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）」（P64）を参照し、TCP/IP をインストールしてください。

TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい （Windows 2000/Me/98/95/NT4.0）

対策： TCP/IP プロトコルや NetBEUI プロトコルをインストールする手順は、次のとおりです。

■ Windows Me/98/95 の場合

1 デスクトップ上の「ネットワーク」※アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
※ WindowsMe の場合は「マイ ネットワーク」を右クリックします。

2 「ネットワーク」画面が表示されますので、[追加]をクリックします。

3 [プロトコル]を選択して、[追加]をクリックします。

4 [製造元]から Microsoft、[ネットワークプロトコル]から TCP/IP または NetBEUI を選択して、[OK]をクリックします。

5 [OK] をクリックする。

※ WindowsMe の場合は、続いて手順 8 に進みます。

6 Windows の CD-ROM を要求するメッセージが表示されます。
Windows の CD-ROM パソコンにセットし、[OK] をクリックします。
パソコンに Windows の CD-ROM が添付されていない場合は、そのまま [OK] をクリックします。

※ CD-ROM を要求するメッセージが表示されなかった場合は、そのまま手順 8 へ進みます。

7 Windows98 の CD-ROM をセットした場合は、E:¥WIN98(CD-ROM ドライブが E ドライブの場合)と入力し、[OK]をクリックします。
Windows95 の CD-ROM をセットした場合は、E:¥WIN95(CD-ROM ドライブが E ドライブの場合)と入力し、[OK]をクリックします。
Windows の CD-ROM をセットしなかった場合は、C¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS(Windows がインストールされているドライブが C ドライブの場合)と入力し、[OK]をクリックしてください。

8 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックします。

以上でプロトコルのインストールは完了です。

■ Windows 2000 をお使いの場合

1 パソコンを起動します。
コンピュータの管理者権限があるユーザー名(Administrator 等)でログオンします。

※登録したユーザーは、制限ユーザーに設定しない限り、コンピュータの管理者権限を持っています。

2 [スタート]－[設定]－[ネットワークとダイヤルアップ接続]を選択します。

3 [ローカルエリア接続]アイコンをダブルクリックします。

4 [プロパティ] をクリックします。

5 [インストール] をクリックします。

6 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されますので、「プロトコル」を選択して、[追加]をクリックします。

7 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」または「NetBEUI プロトコル」を選択して、[OK] をクリックします。

8 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」または「NetBEUI プロトコル」が追加されたことを確認して、[閉じる] をクリックします。

9 「ローカルエリア接続」画面の [閉じる] をクリックします。

以上でプロトコルのインストールは完了です。

■ Windows NT4.0 の場合

1 [スタート] − [設定] − [コントロールパネル] を起動し、コントロールパネルから [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2 [プロトコル] タブをクリックして、[追加] をクリックします。

3 「TCP/IP プロトコル」または「NetBEUI プロトコル」を選択して、[OK] をクリックします。

4 Windows NT4.0 の CD-ROM をパソコンにセットし、「E:¥I386」（CD-ROMドライブがEドライブの場合）と入力し、[続行]をクリックします。

5 「今すぐ再起動しますか？」と表示されますので、[はい]をクリックします。

以上でプロトコルのインストールは完了です。

IP アドレスの割り振りかたがわからない

対策： 以下を参考にして、IP アドレスを設定してください。

■ネットワーク上に DHCP サーバ※が存在する場合

IP アドレスの設定を、以下のように設定します。

Windows Vista/XP/2000：「IP アドレスを自動的に取得する」

Windows Me/98/95：「IP アドレスを自動的に取得」

Windows NT4.0　：「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」

■ネットワーク上のパソコンに IP アドレスがすでに割り振られている場合

パソコンに設定する IP アドレスを、ネットワーク管理者に確認してください。

■ネットワーク上のパソコンに IP アドレスが割り振られていない場合

パソコンの IP アドレスを、以下のように設定します。

（設定例）

	IP アドレス	ネットマスク
パソコン A	：192.168.11.1	（255.255.255.0）
パソコン B	：192.168.11.2	（255.255.255.0）
パソコン C	：192.168.11.3	（255.255.255.0）
パソコン D	：192.168.11.4	（255.255.255.0）
・		
・		
・		
パソコン X	：192.168.11.254	（255.255.255.0）

※ DHCP サーバは、ネットワーク上のパソコンなどに IP アドレスを自動的に割り振るサーバです。
Windows 2000/NT サーバやブロードバンドルータなどの、DHCP サーバ機能を搭載した機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバが動作していることがあります。DHCP サーバ機能が動作しているかどうかは、Windows 2000/NT またはブロードバンドルータのマニュアルを参照してください。
ネットワーク上に Windows Me/98/95 のパソコンしかないときは、DHCP サーバは存在しません。

パソコンの IP アドレスを確認したい

対策： パソコンの IP アドレスは、以下の手順で確認できます。

■ Windows Vista/XP/2000/NT4.0 の場合

1 Windows Vista/XP/2000 の場合は、[スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [アクセサリ] ー [コマンドプロンプト] を選択します。
WindowsNT4.0 の場合は、[スタート] ー [プログラム] ー [コマンドプロンプト] を選択します。

2 「ipconfig」と入力して、[OK] をクリックします。

3 「IP address」欄に IP アドレスが表示されます。

メモ 「IP アドレス」欄に次の数値が表示されているときは、正しく IP アドレスが設定されていません。
•「0.0.0.0」
•「169.254.X.X」（X は 0 ～ 255 までの数字）

■ Windows Me/98/95 の場合

1 [スタート]－[ファイル名を指定して実行]を選択します。

2 「名前」欄に「winipcfg」と入力して、[OK]をクリックします。

3 アダプタ名を、使用している LAN アダプタに変更します。
※「PPP Adapter.」は LAN アダプタではありません。

4 「IP アドレス」欄に IP アドレスが表示されます。

メモ 「IP アドレス」欄に次の数値が表示されているときは、正しく IP アドレスが設定されていません。
•「0.0.0.0」
•「169.254.X.X」（X は 0 ～ 255 までの数字）

Windows パソコンでプリンタドライバのインストール時に本製品が見つからない （NetBEUI プロトコル使用）

対策： 「LPV3 シリーズユーティリティCD」内の「netbeui.txt」の手順でプリンタのドライバをインストールするときに、本製品が検出されない場合は、「NetBEUI プロトコルで印刷する」（P25）の手順で印刷に必要な設定をしてください。

ワークグループを変更したい （NetBEUI プロトコル使用）

対策：　ワークグループは、次の手順で変更できます。

■ Windows Me の場合

1. デスクトップの[マイ ネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。
2. ［識別情報］をクリックします。
3. 「ワークグループ」欄を任意の名前に変更します。
4. ［OK］をクリックします。

■ Windows 2000 の場合

1. デスクトップの［マイ コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。
2. ［ネットワーク ID］をクリックし、［プロパティ］をクリックします。
3. 「ワークグループ」欄を任意の名前に変更します。
4. ［OK］をクリックします。
5. ［OK］をクリックします。

■ Windows 98/95 の場合

1. デスクトップの［ネットワーク コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。
2. ［識別情報］をクリックします。
3. 「ワークグループ」欄を任意の名前に変更します。
4. ［OK］をクリックします。

■ Windows NT4.0 の場合

1. デスクトップの［ネットワーク コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。
2. ［変更］をクリックします。
3. 「ワークグループ」欄を任意の名前に変更します。
4. ［OK］をクリックします。
5. ［OK］をクリックします。

5.2 印刷できない

TCP/IP （LPR） プロトコルで印刷できない

対策： TCP/IP （LPR）プロトコルで印刷が正常にできないときは、以下の手順で設定を確認してください。
別に印刷可能な環境がある場合は、「■ TCP/IP 印刷チェックシート」（P75）を印刷し、必要な項目を記入しながら確認してください。印刷環境がない場合は【X へ記入】と説明している項目を、紙にメモしてください。

■ Windows Vista/XP の場合

①「LPV3 マネージャ」を起動して、ポート名 /IP アドレスを確認します

［スタート］－［（すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［LPV3 マネージャ］－［LPV3 マネージャ］を選択して、LPV3 マネージャを起動します。

1 「プリントサーバ名」欄に表示されている本製品を選択して、ログインボタン（ ）をクリックします。
パスワード画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

2 ［ポート名］欄に表示されているポート名（例：P1）を【A へ記入】します。

3 ［プロトコル］タブをクリックします。

4 ［TCP/IP］を選択して、［プロパティ］をクリックします。

5 ［IP アドレス］欄に表示されている IP アドレスを【B へ記入】します。

② 標準 TCP/IP ポートの確認をします

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］を選択します。

2 使用しているプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

3 ［ポート］タブをクリックし、［Standard TCP/IP Port］にチェックを付けます。

4 ［ポートの構成］をクリックします。

5 ［標準 TCP/IP ポートモニタの構成］画面のポート名を【D へ記入】、プリンタ名または IP アドレスを【C と E へ記入】、LPT 設定のキュー名を【D へ記入】します。

③ パソコンの IP アドレスを確認します

1 ［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を選択します。

2 ipconfig /all と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。確認したパソコンの IP アドレスを【G へ記入】します。

④ プリントサーバとの接続確認をおこなう（PING コマンドの実行）

記③の手順 2 に続いて、ping ＜ B の値＞と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。

「Reply from （以下略）」と表示されたときは、正常に接続されています。「TCP/IP 印刷チェックシート」の H 欄の OK に○を付けます。

「Request timed out」や「Destination host unreachable」と表示されたときは、接続されていません。ケーブルや AC アダプタが正しく接続されているか確認してください（接続機器のランプなどを確認してください）。ケーブル類の接続に問題がない場合は、IP アドレスの設定を確認してください。

■ Windows Me/98/95 の場合

①「LPV3 マネージャ」を起動して、ポート名 /IP アドレスを確認します

［スタート］－［プログラム］－［BUFFALO］－［LPV3 マネージャ］－［LPV3 マネージャ］を選択して、LPV3 マネージャを起動します。

1 「プリントサーバ名」欄に表示されている本製品を選択して、ログインボタン（ ）をクリックします。
　パスワード画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

2 ［ポート名］欄に表示されているポート名（例：P1）を【A へ記入】します。

3 ［プロトコル］タブをクリックします。

4 ［TCP/IP］を選択して、［プロパティ］をクリックします。

5 ［IP アドレス］欄に表示されている IP アドレスを【B へ記入】します。

②「TCP/IP ネットワーク印刷」のポートリストを確認します

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワーク］をダブルクリックします。

3 ［TCP/IP ネットワーク印刷］を選択して、［プロパティ］をクリックします。

4 ［TCP/IP ネットワーク印刷のプロパティ］画面が表示されたら、以下のように［ポートリスト］が表示されていることを確認します。
　ポートリスト：「¥¥IP アドレス ¥ ポート名」

↓　↓
【C へ記入】　【D へ記入】

③ プリンタドライバの設定を確認します

1 ［スタート］－［設定］－［プリンタ］を選択します。

2 本製品に接続されているプリンタを選択して、［ファイル］－［プロパティ］を選択します。

3 ［詳細］タブを開き、以下のように［印刷先のポート］が表示されていることを確認します。
　印刷先のポート：「\\IP アドレス \ ポート名」

↓　↓
【E へ記入】　【F へ記入】

4 ①～③の確認をして、記入した値が A=D=F、B=C=E であれば設定は正常です。

5 同じIPアドレス、数値が入っていない場合は、上記②の確認手順で「ポートリスト」に本製品に設定された IP アドレス、ポート名を再度間違いのないように入力し直してください。また、IP アドレス、ポート名を再設定した後は、プリンタドライバの印刷先ポートの設定も変更してください。

メモ 印刷先のポートの再設定方法

1 [スタート]ー[設定]ー[プリンタ]を選択します。
2 本製品に接続されているプリンタを選択して、[ファイル] ー [プロパティ] を選択します。
3 [詳細] タブを開き、[ポートの追加] をクリックします。
4 [参照] をクリックして、ネットワーク全体から本製品のポート名を選択します。
5 [OK] をクリックします。

④ パソコンの IP アドレスを確認します

「PING コマンドを実行したときに「Request timed out」や「Destination host unreachable」と表示される」の対策②（P79）を参照して、パソコンの IP アドレスを確認してください。

確認したパソコンの IP アドレスを【G へ記入】します。

⑤ プリントサーバとの接続確認をおこなう（PING コマンドの実行）

「ネットワークの接続を確認したい（PING コマンド）」（P78）を参照して、以下の接続確認を行ないます。

■パソコンー 本製品 間の接続確認

《実行方法》

PING　<B の値を入力 > <ENTER キー >

（例：　PING　192.168.11.5 <ENTER キー >）

実行して「Reply from 〜」と表示されたときは、正常に接続されています。「TCP/IP 印刷チェックシート」の H 欄の「OK」に○をつけてください。「Request timed out」や「Destination host unreachable」と表示された場合は、接続されていません。

※ PING コマンドを実行して正常に接続ができない場合には、IP アドレスの設定方法が間違っている可能性があります。「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P66）を参照して、確認してください。

■ TCP/IP 印刷チェックシート

下線部に「TCP/IP（LPR）プロトコルで印刷できない」（P71）の内容に沿って確認した値を、直接記入してください。

A：　LPV3 マネージャの中の出力ポート
（例：P1） ――――→ A ＿＿＿＿＿＿

B：　LPV3 マネージャの中の IP アドレス
（例：192.168.11.5） ――――→ B ＿＿＿＿＿＿

C：　ポートリストの IP アドレス
（例：192.168.11.5） ――――→ C ＿＿＿＿＿＿

D：　ポートリストのポート名
（例：P1） ――――→ D ＿＿＿＿＿＿

E・F：印刷先のポート
（例：\\192.168.11.5\P1）
↓ ↓
E F

\\＿＿＿＿＿＿\＿＿＿＿＿＿

G：　パソコンの IP アドレス
（例：192.168.11.2） ――――→
1 台目＿＿＿＿＿＿
2 台目＿＿＿＿＿＿
3 台目＿＿＿＿＿＿
4 台目＿＿＿＿＿＿

H：　パソコンー本製品間
（例：OK / NG） ――――→ OK / NG

重要チェックポイント

① A=D=F、B=C=E になっていると正常です

② IP アドレスはお客様環境により異なりますが、この設定例では「192.168.11. ＊」の数値が同じ値に設定されていないと繋がりません（サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合）

＊の部分の数値は重複すると正常に動作しません。
（IP アドレスの詳しい設定内容は「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P66））

③ PING コマンドの実行結果が OK にならないと、印刷ができません。IP アドレスが正しく割り振られているか確認してください。
（「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P66）をご参照ください。）

本製品設定後、 プリンタドライバをインストールしたが、正常に印刷できない

原因①： 本製品は双方向通信機能を使用した印刷方式には、対応していません。

対策①： 使用しているプリンタの双方向通信機能を無効にしてください。

メモ 以下の操作をしても印刷できるようにならない場合は、他にプリンタ固有の双方向通信に関する設定がある可能性があります。そのときは、プリンタのマニュアルまたはプリンタメーカにて、双方向通信を無効にする方法を確認してください。

■例：プリンタの双方向通信機能解除

《Windows Vista/XP/2000/NT4.0 の場合》

1 [スタート]－[設定]－[プリンタ]を選択します。

2 使用しているプリンタのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

3 「ポート」タブをクリックして、[双方向サポートを有効にする] のチェックを外します。

《Windows Me/98/95 の場合》

1 [スタート] － [設定] － [プリンタ] を選択します。

2 使用しているプリンタのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

3 「詳細」タブをクリックして、[スプールの設定]をクリックします。

4 「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」にチェックをつけます。

原因②： プリンタの設定以外のことが原因で、正常に印刷できない場合があります。

対策②： 次のことを確認してください。

- 大きなファイルのコピーが正常にできるか、またファイルの共有が正常にできるか確認してください。
- プリンタとパソコン（プリンタ本体が対応する OS が搭載されたもの）を直接 USB ケーブルで接続し、正常に印刷できるか確認してください。
- 最新のプリンタドライバを使用して印刷してください。
- 最新の LAN アダプタのドライバを使用して印刷してください。
- Windows パソコンの場合は、Microsoft のプリンタ共有機能を使用して印刷してください。

DOS アプリケーションから印刷できない

原因： 本製品は、DOS アプリケーションからの印刷に対応していません（Windows のDOSプロンプトで動作するDOSアプリケーションからも印刷できません）。

本製品をネットワークに 2 台以上取りつけたい

対策： １台ずつネットワークに接続して、本製品を設定してください。各プリントサーバに異なる IP アドレスを割り当てることに注意してください。

ネットワークにLPV3シリーズが2台以上あるとき、Windows 2000/NT の DHCP サーバを使って LPV3 シリーズの IP アドレスを自動取得すると、各 LPV3 シリーズに同じ IP アドレスが割り振られてしまう（TCP/IP 使用）

対策： 以下の手順で、LPV3 シリーズの IP アドレスを設定してください。

1 LPV3 マネージャを起動し、TCP/IP のプロパティで IP アドレスの取得を手動設定にします。

2 LPV3 シリーズに割り当てる IP アドレスとサブネットマスクを入力します。

3 DHCP サーバの設定で、LPV3 シリーズに割り当てた IP アドレスを他の機器に割り当てないように設定します（詳しくは、Windows 2000/NT サーバのマニュアルを参照してください）。

ネットワークの接続を確認したい （PING コマンド）

対策：　PING コマンドを実行して、パソコンと本製品が正しく通信できることを確認できます。
PING コマンドの使いかたは次のとおりです。

メモ　PING コマンドを実行するには、TCP/IP プロトコルをインストールしておく必要があります。

1　コマンドプロンプト（MS-DOS プロンプト）を開きます。

メモ
- Windows Vista/XP/2000 の場合は、[スタート]－[（すべての）プログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]を選択します。
- Windows Me/98/95 の場合は、[スタート]－[プログラム]－[MS-DOS プロンプト]を選択します。
- Windows NT4.0 の場合は、[スタート]－[プログラム]－[コマンドプロンプト]を選択します。

2　「>」の後に続けて、次のように PING コマンドを入力し、Enter キーを押します。

ping XXX.XXX.XXX.XXX

※　XXX.XXX.XXX.XXX は本製品の IP アドレスです。
（例）本製品の IP アドレスが 192.168.11.5 の場合
ping 192.168.11.5

3　正しく通信できている場合は、以下のように表示されます。

```
Pinging 192.168.11.5 with 32 bytes of data:
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time=1ms TTL=32
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time=4ms TTL=32
Reply from 192.168.11.5:bytes=32 time<10ms TTL=32
```

通信できていない場合は、「Request timed out」や「Destination host unreachable」などと表示されます。

PING コマンドを実行したときに「Request timed out」や「Destination host unreachable」と表示される

原因①： IP アドレスが正しく割り振られていません。

対策①： IP アドレスの設定を再確認してください。
「IP アドレスの割り振りかたがわからない」(P66)を参照してください。
本製品の IP アドレスを DHCP サーバから自動取得する場合は、IP アドレスの取得に 1 分程度かかる場合があります。

原因②： パソコンの TCP/IP プロトコルの設定が正しくありません。また、TCP/IP プロトコルがインストールされていません。

対策②： 「パソコンの IP アドレスを確認したい」(P67)を参照して、IP アドレスが正常に設定されているか確認してください。
また、TCP/IP プロトコルがインストールされていないときは、「TCP/IP プロトコル /NetBEUI プロトコルをインストールしたい(Windows 2000/Me/98/95/NT4.0)」(P64)を参照して、インストールしてください。

パソコン起動後 1 回目の印刷実行時に、ダイヤルアップ接続画面が表示されてしまう（Windows 98/95）

原因： Windows 98/95 の TCP/IP ネットワーク印刷とインターネットエクスプローラが同じ WinSock インターフェースを利用しているため発生します。

対策： 次の３つのうちいずれかの方法でご利用ください。

- ダイヤルアップ画面をキャンセルして使用します。
- NetBEUI プロトコルを使用して印刷します。
- インターネットエクスプローラの設定を変更します（ただし、手動でダイヤルアップ接続する必要があります)。

《インターネットエクスプローラ Ver4.0 の場合》

［表示］－［オプション］－［接続］の中で、「LAN を使用してインターネット接続」を選択します。

《インターネットエクスプローラ Ver3.0 の場合》

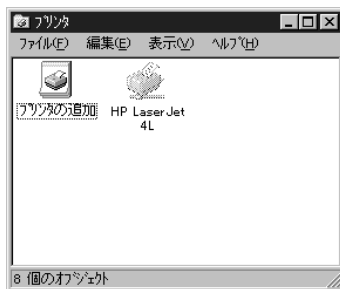
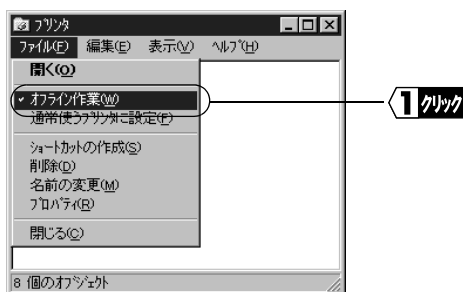
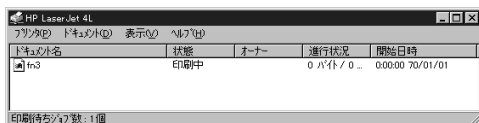
［表示］－［オプション］－［接続］の中で、「必要時にインターネットに接続する」のチェックをはずします。

複数のパソコンから同時に印刷を始めたとき、後から印刷を始めたほうが印刷されない（NetBEUI 使用）

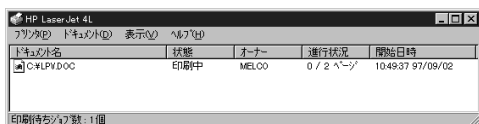
原因： Windows の仕様により、複数のパソコンから本製品にデータを同時に送信した場合、プリンタが「オフライン」設定になることがあります。

対策： 以下の方法で「オンライン」に変更してください。

■ **Windows Me/98/95/NT4.0 の場合**

1 ［スタート］→［設定］→［プリンタ］を選択します。

2 プリンタのアイコンが、グレー表示になっています。
プリンタのアイコンを選択した後、［ファイル］メニューの「オフライン作業」をクリックします。

頻繁に「オフライン」になるときは、「簡単設定ガイド」および本書を参照して、TCP/IP プロトコルを使用して印刷をしてください。

印刷中に『プリンタのプロパティ』を表示すると、『プリンタのプロパティ』の印刷状況が正確に表示されない（NetBEUI 使用）

対策： NetBEUI を使用して印刷する場合、印刷状況が正確に表示されませんが、印刷上の問題はありません。
印刷状況を正確に表示するには、TCP/IP プロトコル（NBT または LPR）を使用して印刷ください。TCP/IP を使ったインストール方法は、「簡単設定ガイド」で説明しています。

■ NetBEUI の場合

■ TCP/IP の場合

NetBEUI で印刷した場合、ドキュメント名は、「fnxxxx」（xxxx は印刷回数）が表示されます。

印刷回数は、0 ～ 9999 までカウントされます。

Windows NT4.0 Server / Workstation で Internet Explorer 4.0/4.01 から印刷できない（NetBEUI 使用）

対策： Internet Explorer が特殊なプロトコルを使用しているためです。
「簡単設定ガイド」を参照し、TCP/IP プロトコルで印刷してください。

5.3 Macintosh から印刷できない

本製品が表示されない（AppleTalk 使用）

対策：　本製品が表示されない場合、以下のことを確認してください。

- Macintosh 同士で、ファイルの共有ができるか確認してください。
- ゾーン名の設定が同じであるか確認してください（工場出荷時設定「*」の場合は問題ありません）。

本製品が表示されない（Bonjour/Rendezvous 使用）

対策：　本製品とプリンタが USB ケーブルで接続され、プリンタの電源が ON になっていることを確認してください。

印刷できない

対策①：　プリンタの種類がポストスクリプトプリンタであるか確認します。Macintosh で本製品に接続したプリンタから印刷できるのは、Post Script プリンタのみです。

対策②：　最新のプリンタドライバをインストールして印刷します。

対策③：　本製品の通信モードと、Macintosh 上の Post Script の出力モードを同じにします（双方の設定をともに ASCII または Binary に設定します）。

第6章

付　録

■この章でおこなうこと

プリントサーバの設定項目と工場出荷時設定、 Web 設定画面、 LAN ポート仕様について説明します。

6.1　本製品の設定項目と出荷時設定

6.2　本製品の Web 設定画面

6.3　モジュラコネクタ仕様

6.1 本製品の設定項目と出荷時設定

本製品には、 以下の設定項目があります。

メモ　付属ソフト 「LPV3 マネージャ」 と Web 設定画面では、 設定項目の名称が異なる場合があります。

項目名	説明	出荷時設定値
基本設定（プリントサーバの設定）		
パス（LPV3 マネージャのみ）	プリントサーバのネットワークパスです。 サーバ名とポート名の設定により、「¥¥ サーバ名 ¥ ポート名」の形式で自動的に決定されます。	\\PU-xxxxxx\P1 ※
（プリント）サーバ名	プリントサーバの名称を設定します。	PU-xxxxxx ※
管理パスワード	プリントサーバの設定画面を開くときのパスワードを設定します	未設定
ポート名	ポート名を設定します。	P1
管理ユーザ名 （WEB 設定画面のみ）	ユーザ名を設定します。	root （変更不可）
無線設定		
SSID （WEB 設定画面のみ）	プリントサーバの SSID を設定します。 ［検索］をクリックすると、近くにある無線アクセスポイントを検索し、その結果を表示します。	-
暗号化 （WEB 設定画面のみ）	無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 WEP： WEP 暗号化を使用します。無線 LAN の一般的な暗号化方式です。 暗号化キー（文字列入力時：5 文字または 13 文字、16 進数入力時 10 桁または 26 桁）を使用して無線アクセスポイントと通信します。 TKIP： 暗号化の方式に TKIP（WEP をさらに強固にした方式）を使用します。 事前共有キー（WPA-PSK）（文字列入力時：8 文字から 63 文字、16 進数入力時 64 桁）を使用して無線アクセスポイントと通信します。	暗号化なし

プロトコル設定（TCP/IP）		
IP アドレスの取得	プリントサーバの IP アドレス取得方法を設定します（Web ブラウザで設定するときは、[DHCP サーバから IP アドレスを自動取得] または [手動設定] のどちらかを選択します）。	自動設定（DHCP サーバから IP アドレスを自動取得）
IP アドレス	プリントサーバの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを手動で設定するときに入力します。	未設定
サブネットマスク		
（デフォルト）ゲートウェイ		
UPnP （WEB 設定画面のみ）	プリントサーバで UPnP を使用するかどうかを設定します。	使用する
Rendezvous （WEB 設定画面のみ）	プリントサーバで Bonjour (Rendezvous) を使用するかどうかを設定します。	使用する
IPP ポート番号 （WEB 設定画面のみ）	IPP プロトコルを使用して印刷を行う際に使用するポート番号を設定します。	631
プロトコル設定（AppleTalk）		
AppleTalk Zone	AppleTalk のゾーン名を設定します。	*
プリンタ名（ポート名） （WEB 設定画面のみ）	ポート名を設定します。	P1
プリンタオブジェクトタイプ	Macintosh でサポートするプリンタタイプを設定します。	LaserWriter
PostScript レベル （WEB 設定画面のみ）	PostScript レベルを設定します。	Level2
フォントグループ （WEB 設定画面のみ）	フォントグループを設定します。	Standard35
プロトコル設定（NetBEUI）		
ワークグループ	ワークグループ名を設定します。	WORKGROUP
プロトコル設定（SNMP）		
SysContact	プリントサーバで SNMP を使用するかどうかを設定します。	使用する
SysLocation	プリントサーバの設置場所を設定します。	未設定
SNMP	プリントサーバの設置場所を設定します。	未設定

SNMP コミュニティ設定	SNMP のコミュニティ名を 3 つまで設定します。	public: Read/Write (No. 1 のみ)

※「xxxxxx」は、本製品の MAC アドレスの下 6 桁です。MAC アドレスは、本製品底面に印刷されています。

メモ Web ブラウザで設定するときは、設定を変更した後に必ず[設定]をクリックしてください。

6.2 本製品の Web 設定画面

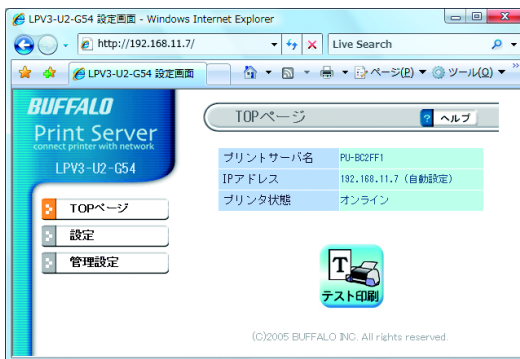
本製品は Web サーバを搭載しています。本製品の IP アドレスが分かっている場合は、Web ブラウザを使用して、 本製品の設定を確認したり変更したりすることができます。

メモ　本製品の IP アドレスは、 Windows 用付属ソフト 「LPV3 マネージャ」 を使って確認することができます。 確認方法は、 マニュアル 「簡単設定ガイド」 の 「ステップ 5 無線プリントサーバを設定しよう」 を参照してください。

■ Web 設定画面の表示方法

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレス欄に「http:// ＜本製品の IP アドレス＞」と入力し、[Enter] キーを押します。

3 ユーザー名とパスワードの入力する画面が表示されますので、
「ユーザー名」 欄→ root（小文字）
「パスワード」 欄→空欄
と入力して、［OK］ をクリックすると、以下の画面が表示されます。
※ パスワードを設定している場合は、「パスワード」 欄にパスワードを入力します。

メモ　各設定項目については、「本製品の設定項目と出荷時設定」（P84）を参照してください。

■ 設定例 1 ： IP アドレスの設定

IP アドレスを任意の値に固定すると、Web ブラウザだけを使って設定の確認や変更をすることができます。

1 Web 設定画面を表示します。

2 画面左の［設定］をクリックし、［ネットワーク設定］をクリックします。

3

メモ IP アドレスの設定については、「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P66）を参照してください。

■　設定例 2 ： プリントサーバ名の設定

必要に応じて、プリントサーバ名を変更することができます。

1　Web 設定画面を表示します。

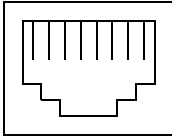
2　画面左の［設定］をクリックします。

3

メモ　各設定項目については、「本製品の設定項目と出荷時設定」（P84）を参照してください。

6.3 モジュラコネクタ仕様

ISO/IEC8877:1992 で規定された RJ-45 型 8 極コネクタを使用しています。

・ MDI 信号の割り当て

ピン番号	MDI 信号	信号機能
1	TD+/RD+	送信データ (+)/ 受信データ (+)
2	TD-/RD-	送信データ (-)/ 受信データ (-)
3	RD+/TD+	受信データ (+)/ 送信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	RD-/TD-	受信データ (-)/ 送信データ (-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用